



鹿児島島のいろいろな建物や施設、
あるいは人の心の中にあるバリアが取りはられています。
一人ひとりが、より快適で自由な暮らしが営めるように。

KAGOSHIMA

バリアフリー最前線

Barrier Free-Saizensen



環境と福祉に配慮して開発された「JPN TAXI」(トヨタ自動車)。鹿児島県内では10社34台の導入実績がある(2018年6月現在)



ワゴンならではの開放的な車内空間が特徴の「NV200 タクシーユニバーサルデザイン」(日産自動車)。鹿児島県内では約20台の導入実績がある(2018年6月現在)



車両側面からの乗車で、車道に出る必要がなく安心 (JPN TAXI)

さまざまな人にやさしく快適な
ユニバーサルデザインタクシー

JPN TAXI、NV200タクシー

ジャパンタクシー ユニバーサルデザイン

(トヨタ自動車、日産自動車)

鹿児島トヨペット株式会社 (JPN TAXI取扱い)
TEL 099-226-0211 (代)
FAX 099-222-4485

鹿児島日産自動車株式会社 (NV200取扱い)
TEL 099-223-8128 (代)
FAX 099-223-8110



スライド式スロープは頑丈なつくりで、傾斜角も11度と高い安定性 (NV200)



広い間口で乗り降りしやすく、足元もゆったり広々 (JPN TAXI)



色弱者に配慮し乗車時に見えやすいイエローカラーのアシストグリップを採用 (JPN TAXI)



乗降時の負担を軽減する電動式スライドステップと大型手すり (NV200)



シートを折りたためばさらに広々。車いす利用者含め乗客3名乗車可能 (NV200)

●最近、車高が高めの新型タクシー車両を街で見かける機会が増えてきました。従来のセダンタイプのタクシーとは見た目が異なるだけでなく、車いすに座ったまま乗車できるなど、これまでにはなかった特長があります。

トヨタ自動車は2017年10月に発売した「JPN TAXI X-1」(ジャパンタクシー)は、低床でスライドドアの開口幅も大きく、乗り降りしやすいよう設計されています。車道に出ることなく、車両側面から車いすのまま乗車でき、車内ではフラットな姿勢を保てます。後部座席は、ゆったり広々とした空間が確保され、多くの人に快適性を提供するおもてなしの心を乗せたタクシーとして、今後ますます注

目を集めそうです。

日産自動車の「NV200 タクシーユニバーサルデザイン」が登場したのは2015年。車両後方から後退防止ベルトが装備されたスロープで安全に車いすのまま乗車可能。ゆとりある車内空間では、同乗者が介助しやすいように、車いす利用者にすぐ手が届く座席レイアウトになっています。車両側面には乗降時の負担を軽減する電動式スライドステップや、手に取りやすい大型手すりが装備され、車いす利用者だけでなく誰でも安心して乗り降りできます。

どちらのタクシー車両も、障害の有無に関わらずさまざまな人が利用しやすいユニバーサルデザイン設計でありながら、一般タクシーと同じ運賃で乗車可能。東京オリンピック・パラリンピック開催と同じ2020年に、国体と全国障害者スポーツ大会が行われる鹿児島でも、今後一層注目が高まり、おなじみの街の顔として親しまれていくかもしれません。

